

本学は、下の地図に示されている6カ国・地域の10大学と大学間交流協定を結んでいます。このうち、上海体育大学(中国)、韓国体育大学校(韓国)、国立体育大学(台湾)、天津体育学院(中国)の4大学とは学生交流(交換留学)を行っています。交換留学生は学内選考を経て決定されます。留学期間は1年以内で、1大学当たり2名までを派遣しています。

交換留学においては、協定校で取得した単位を本学の単位として認定するための単位認定制度があります(ただし、協定校で取得した単位すべてが必ずしも本学の単位として認定されるわけではありません)。

その他、本学とJICA(国際協力機構)はJICA海外協力隊連携派遣に関する覚書を締結し、2025年2月から2027年3月までの3年間にわたり、本学柔道部の学生をペルー共和国に派遣します。

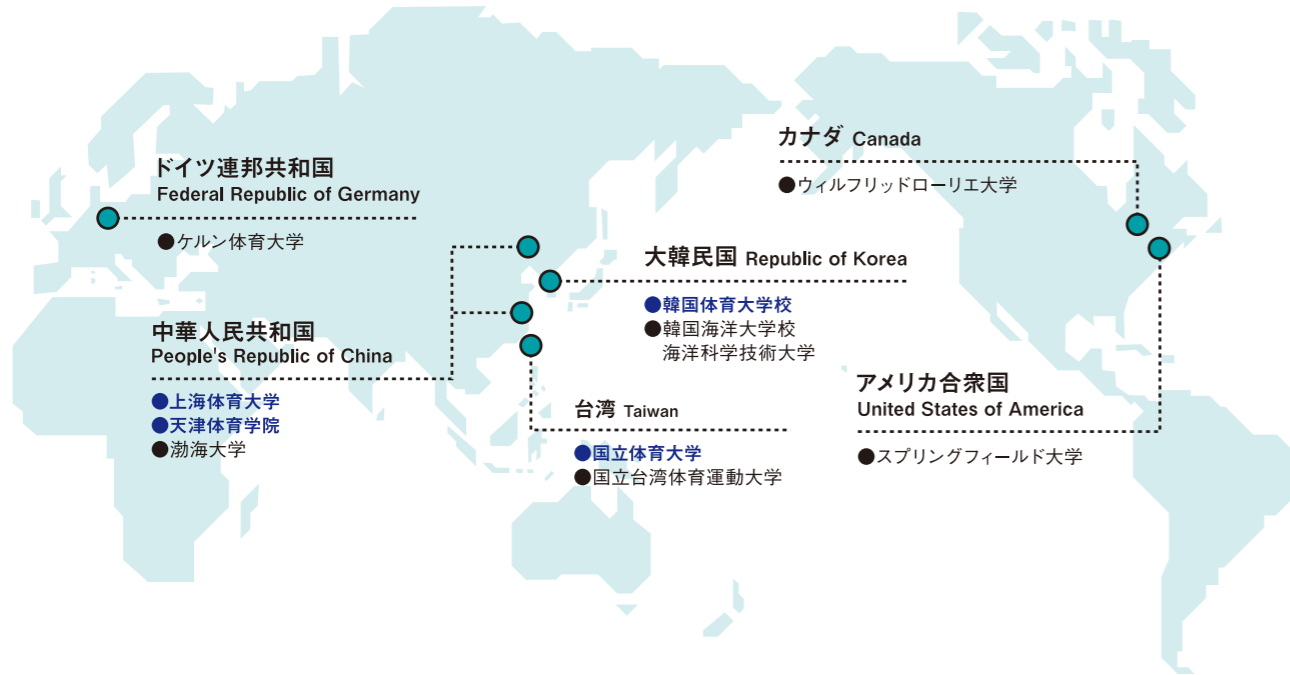
外国人留学生在籍状況(令和8年5月1日現在) 単位:人

国・地域	学生区分別内訳				計
	大学院生	学部学生	特別聴講学生	研究生	
韓国			1		1
中国	5	1	1	1	8
台湾	1			1	2
カザフスタン				1	1
計	6	1	2	3	12

※「特別聴講学生」は、交換留学制度により交流協定大学から本学へ留学している学生です。

大学間交流協定状況(令和8年5月1日現在)

※青字は学生交流(交換留学)実施校



交流は笑顔、勝負は白熱!

国際交流の取組紹介

令和7年6月5日、留学生と日本人学生のスポーツを通じた交流イベント「ドッジビーで交流しよう!」を実施しました。留学生、日本人学生、教職員が参加し、ニュースポーツの1つであるドッジビーを通して交流を深めました。普段はなかなか接点がない学生同士がお互いを知る機会となりました。本学の特色であるスポーツを通して、学内外の交流を活性化し、グローバルな視座を養う機会の創出に努めています。



留学生からのメッセージ

鹿屋体育大学に入学して今年で2年目になります。来日当初は慣れない環境の中で不安がありましたが、先生方や友人に温かく支えていただき、少しずつ周りに溶け込み、充実した留学生活を送れるようになりました。先生方の丁寧なご指導のもとで研究を進めながら、専門的な知識と実践力を高めることができました。また、国際交流活動やかのや夏祭り踊りなどの地域行事にも参加し、日本の伝統文化を身近に体験しました。さまざまな出会いを通して視野が広がり、自分の将来についても新しい考えを持つようになりました。

李 星語 LI XINGYU

課程・学年: 大学院体育学研究科体育学専攻修士課程2年
出身地: 中国

留学生からのメッセージ

鹿屋体育大学での留学生活を通して、専門知識だけでなく、多様な価値観の中で物事を考える姿勢を学びました。実践と理論を往還しながら学ぶ環境の中で、自分の意見を論理的に伝える力の大切さや、研究活動において努力を積み重ねることの意味を実感しました。また、日常生活では周囲の方々に支えられ、人とのつながりの温かさにも気づきました。異文化の環境で学ぶ経験は、自分自身を見つめ直す機会となり、将来スポーツ分野で社会に貢献したいという目標をより明確にしてくれました。

雷 浩明 LEI HAOMING

課程・学年: 大学院体育学研究科体育学専攻修士課程2年
出身地: 中国

